



令和2年度に洋裁で「現代の名工」に選ばれ、令和6年には洋服仕立職で黄綬褒章を受賞した株式会社ほうこうの専務取締役・猿田由美子さん。婦人子供服の製造において既製品と注文品の一級技能士資格※を保有し、数々の受賞歴を持っている。その卓越した技術はどのように生まれたのか。また、今後取り組みたいことについてもお話を伺った。

※婦人子供既製品一級技能士/注文服一級技能士…婦人服、子供服の製造に関する技能や知識を証明する国家資格



専務取締役 猿田 由美子

株式会社 ほうこう
〒010-1638
秋田市新屋表町2-17
TEL: 018-828-6162
FAX: 018-828-0194
<http://www.ho-ko.co.jp/>



HP

ブラウス工場から、ジャケット・コート工場に挑む

男鹿市出身の猿田由美子さん。幼い頃から手先が器用で、母の影響もあり自然と洋裁に興味を持った。高校卒業後に秋田市の洋裁学校で学び企業へ就職したものの、学校で学んだことを活かせないと感じ退職。実家の離れで注文服の専門店をオープンしたのがキャリアの始まりだ。結婚後も常連客からの注文が絶えず、夫の電気店を手伝いながら毎晩独学で技術に磨きをかけた。昭和59年には、ブラウス工場を引き継ぎ、前オーナーの負債を抱えて再建を目指すも困難の連続だった。その頃秋田ではレディースのジャケット・コート工場が無かったが、品質の良さで有名ブランドの製品の生産に取り組み実績を積み重ねることで着実に負債を返済し、信頼を勝ち得た。

その後、既製品と注文品の一級技能士を取得し、夫の勧めで平成15年に「技能グランプリ」に初出場。全国レベルの技術者の姿に刺激を受け、表彰台へ上がってみたいという思いを抱き、3回目の出場で2位に輝いた。

技術の研鑽を続け、後進の育成にも挑戦

大会での功績に加え、厚生労働省ものづくりマイスターや全技連婦人服マイスターにも認定され、「現代の名工」の称号を手にする。そんな猿田さんにとって努力を続ける原動力は何だったのか。

「色々挑戦したけれど、洋裁だけは飽きなかったし、楽しかった。でも一緒に洋裁をやる仲間がいたらと感じることもよくありました」。最近では、秋美大の学生アルバイトを雇うなど、秋田で洋裁に取り組んでくれる人材の育成にも励んでいる。また、中学生の職場体験の受け入れや、金足農業高校で洋裁の指導も行っている。猿田さんには、洋裁に限らず、生徒たちに教えることがある。「分からないことは恥ずかしいことではない。分からないままにしておくのが恥ずかしい」ということだ。

猿田さんの好奇心と行動力は、次の世代に受け継がれていく。



現在同社では、既製品や注文品の一級技能士資格を保有するスタッフも多く勤務する。



猿田さんは今もサンプルなどの制作を行っている。



指導した金農生の1枚。
熱心な指導で7年連続洋服の技術検定一級に全員合格。